

～茨城県地域包括ケア推進センター研修会～ アドバンス・ケア・プランニング (ACP)について

2025

11/12(水)

18:30～20:00

Zoom

プログラム
講演 60分、質疑応答あり

対象
医療・介護・福祉に係る多職種



講師：木澤義之先生
筑波大学医学医療系
緩和医療学教室

アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning:以下 ACPと略) とは、「必要に応じて信頼関係のある医療・ケアチーム等の支援を受けながら、本人が現在の健康状態や今後の生き方、さらには今後受きたい医療・ケアについて考え（将来の心づもりをして）、家族等と話し合うこと」を指す。ACPの実践においては、1) 一般市民と実際に人生の最終段階に直面している人の2つのカテゴリーに分けてその介入方法を変えること、2) 患者と代理決定者である家族等の話し合いを促進すること、3) 患者の準備状態に応じて行い、特に希望を支えながら、もしものことをともに心配していくスタンスを忘れないこと、の3点を重視する必要がある。本講演では、**Serious Illness Care Program**を用いた話し合いについて解説し、実際に現場でどのような実践が必要かを参加者の皆さんと考える機会としたい。

Serious Illness Care Programとは：Harvard大学Dana Farber がんセンターで実施されている重篤な疾患を持つ患者のケアプログラムです。

このプログラムは、全ての生命の危機に直面する患者に対して、一人ひとりの病状と価値観にあわせた最善の治療をするために、全ての患者とEnd-of-Life Discussionをすることを目指したものです。

申込はこちらから
(11/7まで)

<https://forms.gle/deD4VR4J1ikUph2o9>



お問い合わせ
茨城県地域包括ケア推進センター

TEL：029-243-7720
FAX：029-243-7722
e-mail：i-renkei@ibaraki.med.or.jp